

2018年8月1日

**受動喫煙対策先進企業として世界保健機関（WHO）から評価
「Revolution Smoke-Free（禁煙革命）」へ参画
～健康経営における禁煙の取組み～**

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下、「当社」）は、世界保健機関（WHO）が中国の北京で主催した「Revolution Smoke-Free（禁煙革命）」のイベントに、社員の禁煙・受動喫煙防止を先立って達成した企業として招待され、当社の健康経営の取組みについて発表しました。

1. 禁煙に関する取組み

当社はお客さまが健康になることを応援する「健康応援企業」への変革を目指し、保険本来の機能（Insurance）と健康を応援する機能（Healthcare）を組み合わせ、従来にない新たな価値「Insurhealth（インシュアヘルス）」をお客さまに提供しています。まずは、社員一人ひとりとその家族の健康維持・増進が不可欠であるとの考えのもと「健康経営」を実践し、具体的には、「全社禁煙化」など、社員の受動喫煙対策に約1年間取組んでまいりました。この実績により、世界保健機関（WHO）から社員の禁煙・受動喫煙防止を先立って達成した企業として認められ、「Revolution Smoke-Free（禁煙革命）」に参画する運びとなりました。

2. 社員に対する今後の禁煙サポート

今後、当社は新たな受動喫煙対策として、国立がん研究センターが監修した特別なプログラムに基づき訓練されたカウンセラーによる禁煙カウンセリングを希望する社員に対して行う予定です。

当社の喫煙率が2020年までに12%以下（現状20.8%）になるよう、禁煙の模範企業として受動喫煙対策に積極的に取り組んでまいります。さらに、禁煙をはじめとして健康になることを応援する商品（インシュアヘルス）を提供していくことで、健康を通じて持続可能な社会の実現を目指してまいります。

以上

<参考：損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の受動喫煙対策>

①全社禁煙達成（2017年8月）	全国131カ所の営業拠点を含む全社の占有スペースを終日禁煙
②社員の禁煙治療費の補助	医療機関に通院し、禁煙治療を行った社員に健保から補助金を支給
③社員への禁煙セミナーの開催	喫煙社員向けに、健康への影響、受動喫煙などについて研修実施
④e-ラーニングで禁煙セミナー公開	③について、全国の社員向けに社内イントラで動画配信
⑤禁煙カウンセリングの実施予定	国立がん研究センターが監修した特別なプログラムに基づき訓練されたカウンセラーによる禁煙カウンセリング